

# 建設大臣賞

## 都市計画道路 元寺小路 七北田線(将監トンネル) 整備事業

(仙台市)

■表彰対象者：仙台市建設局

### 表彰の理由

沿道市街地の環境や地形に対応して、道路の構造やデザインにも配慮し、幾多の困難を克服して都市の骨格を形成する幹線街路を完成させた。



国道4号（仙台バイパス）側から望む

### 事業のあらまし

本路線は、市の骨格となる3環状12放射状の主要幹線道路の放射状の一路線であり、市北部と都心部を結ぶ主要地方道である。

将監トンネルは、既存団地のほぼ中央を縦断する形で計画されたことから、当該地区の住環境への配慮を最重要と考え、また、前後の土地利用への影響も考慮し、全国的にもまれな半地下トンネルとして建設したものである。

- 延長：987.5m
- 幅員：25~44m
- 全体事業費：6,300百万円  
うち街路事業費：6,300百万円
- 事業期間：昭和59年度～平成3年度



泉中央側から



泉中央側から



既存住宅団地との立体分離により住環境への影響も低減された



半地下式トンネル内部



トンネル上部防音壁



トンネル上部防音壁

### 事業の効果

将監トンネルは、市北部の副都心である泉中央地区と国道4号バイパスとの間の区間であり、市北部および隣接町村の大規模団地群と地下鉄ターミナル駅である泉中央駅との結節を図るとともに、市中心部への北の玄関口として重要な機能を担っている。

現在、同トンネルの交通量は、約3万台／日であり、この交通量の既存市街地への混入を防ぐとともに、半地下トンネル構造により騒音など交通公害の影響も低減されている。